

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆1～8月の人手不足倒産、過去最多の333件 TSR調べ

・東京商工リサーチ(TSR)は1～8月の人手不足に起因する倒産件数(負債額1000万円以上)を発表。倒産件数は前年同期比39%増の333件となり、調査を始めた2013年以降で過去最多。企業倒産のうち、求人難や人件費高騰、従業員退職による倒産を抽出。「人件費高騰」を原因とする倒産は2.2倍の175件、「従業員退職」による倒産は17%増の81件。

◆金融庁、信金・信組の債券含み損を点検 金利上昇で対策促す

・金融庁は信用金庫や信用組合が保有している国債など有価証券の含み損の状況を点検する。インフレ対応で日銀が利上げを加速するとの観測が強まり、長期金利は上昇(債券価格は下落)基調にある。含み損拡大への懸念が強まるなか、地域金融機関の経営への影響を早期に把握し、リスク管理の強化を求める。

◆最低賃金、全国の加重平均1177円に 上げ幅鈍るも国の目安超え

・2026年度の最低賃金の全国加重平均が1177円になる見通しとなった。いまの1121円から56円上がる。過去最大の引き上げとなった25年度の66円から伸び幅は縮んだものの、国が示した目安の55円上げを上回った。3日に沖縄県が1086円と決め、47都道府県で出そろった。東京都の1280円が最も高く、宮崎県の1085円が最も低い。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆国内の伸銅品相場が高騰、昨年末比3割高に 生産は「AI特需」の追い風

・銅を板や棒などに加工した素材製品である「伸銅品」の国内価格が高騰。国際相場の高値が波及しているため、主力品種は昨年末時点と比べ3割高い水準で推移する。AIの普及に伴う半導体向けの特需も吹き、伸銅品生産も活況。半導体のリードフレームや自動車用の端子・コネクタなどに使われる「銅条」伸銅品が最も生産が多い品種。

◆ダイキン、「冷房バブル」の北海道で技術者不足 行政と人材育成急ぐ

・北海道で最も急増しているものの一つは冷房機器。世帯の2割超が過去3年以内に新たに導入したと考えられる。空前の「冷房バブル」を受け、設置や修理を担う技術者が不足している。「おそらく5年後には、修理の受付件数がさらに1.5倍にふくれ上がる。人員を1.5倍に増やしたくても、人手不足に加え現役の技術者の高齢化が進んでいる。

◆大和ハウス、新築戸建て受注絞り込み コスト高で最低価格5000万円に

・大和ハウス工業は新築戸建て住宅の受注を絞り込む。販売価格は5000万円以上に限る。東京や大阪など都市部に営業機能を集中し、23道県から撤退。国内住宅事業は資材や人件費の上昇で収益が圧迫され、単価の引き上げで改善を急ぐ。金利高やインフレが住宅需要の下押し圧力となり、建設業の人手不足が住宅の販売活動や建設を制約。

《 注目商品 》

■クリナップ、「ELVITA(エルヴィータ)」 ベッセル型洗面化粧台を刷新

・ベッセル型洗面化粧台に収納付きフル1面鏡と3面鏡を新たに追加。組み合わせることで、120cm以上の大間口に対応。キャビネットカラーを扉と同じ4色にすることで、統一感を演出。新たに扉カラーと同色の大間口フレームミラーもラインナップ。



■HIKOKI ガスなしで効率的に打ち込めるコードレスコンクリート釘打機

・ガスなしでパワフルな釘打ちが可能な「コードレスコンクリート釘打機 NC1840DA」を発売。同社初の「エアスプリング方式」を採用。ガスカートリッジの交換が不要で屋内でも快適に使用でき、コンクリート下地だけでなくH形鋼などの鋼材下地への直接打ち込みにも対応。



■リンナイ、シニアのガス火調理をサポート

・ガス火調理の不安を解消するため、認知症当事者や介助者の声を取り入れて開発された「SAFULL+」シリーズに、ガステーブルコンロを追加。聞き取りやすい音声ガイドと大型ごとくを採用。鍋を置きやすくし、バーナーに触れるリスクを軽減。

